

I. 予備調査について

I-1. 事業管理者のプロフィール

団体名 (代表者名)	一般社団法人 横浜建設業協会		
所在地	横浜市中区太田町2丁目22番地		
電話番号	045(201)9521	E-mail	
FAX番号	045(212)5027	URL	http://www.yokokenkyo.or.jp/
設立年月日	平成25年4月1日	担当者名	

I-2. 申請時の事業概要

神奈川県内や横浜市内の建設業関係団体の人材確保・育成の取組み等の現状を調査し、その取組を拡充する方向で、協調または協働できるか意見、情報交換の場を設定しながら、その可能性を探り地域連携ネットワークの構築を検討する。

(検討事項)

- ・ 構成員団体の人材確保・育成に向けた現状の取組の調査及び他団体の取組に関する情報収集
- ・ 構成員団体が今後取り組もうとしている、または取り組むべき事項、またそのために必要な条件
- ・ 効果的な広報のあり方、共通のツールの検討
- ・ テーマによる団体間の連携の可能性の検討

(検討体制、構成員) (現在呼びかけを想定している団体)

- ・ 横浜建設業青年会
- ・ 横浜市電設協会
- ・ 横浜市塗装業協同組合
- ・ 神奈川県鉄筋業協同組合
- ・ 横浜市 (建築局、経済局)

Ⅱ. 調査結果

Ⅱ-1. 実施した調査内容

※調査を行った事項について、具体的に記入してください。

- ・人材の育成・確保について、何らかの取り組みを行っている、または行おうとしている団体に呼びかけをして、本趣旨に賛同した団体と検討を行った。
- ・市内の工業高校を訪問して、インターンシップ・出前講座の実施について協議を行った。
- ・横浜建設業協会をはじめ各団体の内部で、それぞれの会員企業に対して、インターンシップにおける派遣生徒の受け入れの希望の有無を募った。

Ⅱ-2. 地域教育訓練ネットワーク構築について

※団体等と連携し、教育訓練組織のネットワーク連携の可能性について記入してください。

平成 27 年 9 月 30 日、下記団体が協議した。若年者の入職促進の具体的な取り組みを進める中で、連携を図ることで合意した。(横浜市建設業若年者入職促進検討会)

- ・(一社) 横浜建設業協会
- ・(一社) 神奈川県建設業協会横浜支部 (但し、当日欠席)
- ・(一社) 横浜電設業協会
- ・神奈川県鉄筋業協同組合
- ・横浜市塗装業協同組合 (昭和会)
- ・横浜市(建築局) (但し、当日欠席)

Ⅱ－３．教育訓練体系の内容について

※教育訓練施設の確保やカリキュラム・教材・講師等について調査内容を記入してください。

インターンシップについて

・学校側のインターンシップ実施体制は整っており、7～8月の建設業界の受け入れ態勢が整えば、毎年実施することは可能である。

出前講座について

・学校側へのヒアリングの結果、学校で出前講座を開催できることが分かり、学校行事予定に入れるなど日程を調整できれば実施可能である。

Ⅱ－４．その他周辺事業について

※その他広報活動などはここに記入してください。

Ⅱ-5. 実施事業への移行について

※実施事業に移行できるかどうか。誰とどのようなことをしたいか等大まかな予定を記入してください。

予備調査の結果、実施事業への移行は、以下に記述するような状況があるので可能と判断した。

インターンシップについて

- ・市内の工業高校2校を訪問して、進路指導担当の教諭と協議を行い、その実現に協力してもらえ旨の回答を得ている。
- ・横浜建設業協会をはじめ各団体の内部の受け入れの希望を表明した会員企業は、担当者を決める等の準備を進めている。
- ・7～8月の夏休み期間を利用して実施する予定。
- ・派遣される生徒と受け入れ企業の数のアンバランスを考慮して、市内の普通高校や専門学校の生徒の受け入れも視野に入れている。

出前講座について

- ・学校側では、通常、毎年3月頃年間の学校行事のスケジュールをたてるとのことであるが、その行事の中に鉄筋業に関する出前講座を設定してもらえるように働きかけを行っているところである。

横浜市合同就職説明会について

- ・横浜市とハローワークが提携して実施する事業のため、現状では、当協会としては直接主催者に、協会の声を届けることはできていないが、横浜市とのパイプを活用して、横浜市に対して、28年度以降の実施、開催時期や場所等の見直しを訴えている。

以上